

# 令和 6 年度 病院事業決算状況

都道府県名 神奈川県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	足柄上病院	2
-	循環器呼吸器病センター	3
-	こども医療センター	4
横浜市	市民病院	5
横浜市	みなと赤十字病院	6
横浜市	脳卒中・神経脊椎センター	7
川崎市	川崎病院	8
川崎市	井田病院	9
川崎市	多摩病院	10
横須賀市	市民病院	11
横須賀市	総合医療センター	12
平塚市	平塚市民病院	13
藤沢市	藤沢市民病院	14
小田原市	市立病院	15
茅ヶ崎市	市立病院	16
三浦市	市立病院	17
厚木市	市立病院	18
大和市	市立病院	19

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>		都道府県名 神奈川県	
市町村・組合名			
病院名	足柄上病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	9,237,333	
決算規模(千円)	2,291,196,569	
標準財政規模(千円)	1,449,789,663	
財政力指数	0.86325	
経常収支比率(%)	96.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	54.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	42,299			
1 経常収益	42,299			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	42,299			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	42,299			
2 経常費用	42,299			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	66.2
材料費	-	-	27.1	21.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	10.1
減価償却費	-	-	8.6	9.5
経費	-	-	22.0	28.6
(うち委託料)	-	-	11.8	14.4
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	42,299			
(うち支払利息)	42,299	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損失	-			
累積欠損金	2,270,074			
経常収支比率	100.0		93.0	89.9
医業収支比率	-		83.9	79.3
修正医業収支比率	-		81.0	75.9
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	14.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	17.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	14.6
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	77.2

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>		都道府県名	
		神奈川県	
市町村・組合名			
病院名 循環器呼吸器病センター			
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	9,237,333	
決算規模(千円)	2,291,196,569	
標準財政規模(千円)	1,449,789,663	
財政力指数	0.86325	
経常収支比率(%)	96.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	54.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	17,543			
1 経常収益	17,543			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	17,543			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	17,543			
2 経常費用	17,543			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	66.2
材料費	-	-	27.1	21.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	10.1
減価償却費	-	-	8.6	9.5
経費	-	-	22.0	28.6
(うち委託料)	-	-	11.8	14.4
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	17,543			
(うち支払利息)	17,543	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	419,879			
経常収支比率	100.0		93.0	89.9
医業収支比率	-		83.9	79.3
修正医業収支比率	-		81.0	75.9
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	14.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	17.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	14.6
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	77.2

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>		都道府県名	
		神奈川県	
市町村・組合名			
病院名		こども医療センター	
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	9,237,333	
決算規模(千円)	2,291,196,569	
標準財政規模(千円)	1,449,789,663	
財政力指数	0.86325	
経常収支比率(%)	96.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	54.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	103,210			
1 経常収益	103,210			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	103,210			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	103,210			
2 経常費用	103,210			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	58.1
材料費	-	-	27.1	29.1
(うち薬品費)	-	-	14.8	15.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	12.7
減価償却費	-	-	8.6	8.1
経費	-	-	22.0	18.7
(うち委託料)	-	-	11.8	10.4
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	103,210			
(うち支払利息)	103,210	-	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	4,603,729			
経常収支比率	100.0		93.0	93.4
医業収支比率	-		83.9	87.3
修正医業収支比率	-		81.0	84.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	11.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	9.8
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	84.3

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名		横浜市			
病院名		市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	79,612 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	34	指定病院の状況	救臨が感災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	624	90.3	91.9	85.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	26	46.8	67.4	74.9
計	650	88.6	90.9	85.3
平均在院日数(一般病床のみ)		10.6	11.1	10.9

設立団体の状況		
人口(人)	3,777,491	
決算規模(千円)	2,025,762,829	
標準財政規模(千円)	1,026,783,460	
財政力指数	0.95	
経常収支比率(%)	99.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	114.9

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均	
総収益	31,765,684				
1 経常収益	31,733,815				
(1) 医業収益	29,186,523				
(うち修正医業収益)	28,958,264				
入院収益	18,689,216				
外来収益	9,513,147				
診療収入計	28,202,363				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	984,160				
(うち他会計負担金)	228,259				
(2) 医業外収益	2,547,292				
(うち国・都道府県補助金)	70,547				
(うち他会計補助・負担金)	1,135,398				
(うち長期前受金戻入)	953,957				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	31,869				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	35,007,288				
2 経常費用	33,238,825				
(1) 医業費用	31,493,035				
職員給与費	13,839,188	47.4	60.8	53.3	
材料費	9,641,676	33.0	27.1	33.0	
(うち薬品費)	5,908,196	20.2	14.8	18.6	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,582,410	12.3	11.8	14.1	
減価償却費	2,482,706	8.5	8.6	7.4	
経費	5,457,317	18.7	22.0	17.2	
(うち委託料)	2,462,762	8.4	11.8	10.2	
研究研修費	67,176				
資産減耗費	4,972				
(2) 医業外費用	1,745,790				
(うち支払利息)	149,734	0.5	0.9	0.7	
(3) 特別損失	1,768,463				
経常損益	-1,505,010				
純損益	-3,241,604				
累積欠損金	13,574,489				
経常収支比率	95.5		93.0	94.3	
医業収支比率	92.7		83.9	89.6	
修正医業収支比率	92.0		81.0	87.6	
他会計繰入金対経常収益比率	4.3		12.2	7.6	
他会計繰入金対医業収益比率	4.7		14.3	8.5	
他会計繰入金対総収益比率	4.3		12.3	7.6	
実質収益対経常費用比率	91.4		81.6	87.1	

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	95,450,540
1 固定資産	74,651,564
(1) 有形固定資産	70,883,316
(2) 無形固定資産	1,082,041
(3) 投資その他の資産	2,686,207
2 流動資産	20,798,976
(1) 現金及び預金	5,874,486
(2) 未収金及び未収収益	6,487,870
(3) 貸倒引当金( )	91,994
(4) 貯蔵品	413,886
3 繰延資産	-
負債合計	95,721,686
1 固定負債	64,663,118
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	56,888,333
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	7,774,785
(6) リース債務	-
2 流動負債	21,237,142
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,504,951
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,450,034
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,049,863
(9) 前受金及び前受収益	2,745
3 繰延収益	9,821,426
(1) 長期前受金	32,480,742
(2) 長期前受金収益化累計額( )	22,659,316
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-271,146
1 資本金	37,517,072
2 剰余金	-37,788,218
(1) 資本剰余金	10,172,865
(2) 利益剰余金	-47,961,083
負債・資本合計	95,450,540
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	271,146
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,317,414	1,363,657
資本勘定繰入	1,039,719	1,039,719
計	2,357,133	2,403,376

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	134.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		神奈川県	
市町村・組合名	横浜市		
病院名	みなと赤十字病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	74,148 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	36	指定病院の状況	救臨が 災地
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	584	84.7	81.2	76.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	43.9	49.5	54.9
感染症	-	-	-	-
計	634	81.5	78.7	75.0
平均在院日数(一般病床のみ)		9.7	9.4	9.0

設立団体の状況		
人口(人)	3,777,491	
決算規模(千円)	2,025,762,829	
標準財政規模(千円)	1,026,783,460	
財政力指数	0.95	
経常収支比率(%)	99.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	114.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,790,879			
1 経常収益	1,790,668			
(1) 医業収益	56,095			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	56,095			
(うち他会計負担金)	56,095			
(2) 医業外収益	1,734,573			
(うち国・都道府県補助金)	49,121			
(うち他会計補助・負担金)	483,671			
(うち長期前受金戻入)	351,395			
(うち資本費繰入収益)	225,121			
(3) 特別利益	211			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,282,380			
2 経常費用	1,280,712			
(1) 医業費用	923,692			
職員給与費	-	-	60.8	53.3
材料費	-	-	27.1	33.0
(うち薬品費)	-	-	14.8	18.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	14.1
減価償却費	542,518	967.1	8.6	7.4
経費	381,174	679.5	22.0	17.2
(うち委託料)	-	-	11.8	10.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	357,020			
(うち支払利息)	350,967	625.7	0.9	0.7
(3) 特別損失	1,668			
損益	509,956			
純損益	508,499			
累積欠損金	10,224,535			
経常収支比率	139.8		93.0	94.3
医業収支比率	6.1		83.9	89.6
修正医業収支比率	-		81.0	87.6
他会計繰入金対経常収益比率	30.1		12.2	7.6
他会計繰入金対医業収益比率	962.2		14.3	8.5
他会計繰入金対総収益比率	30.1		12.3	7.6
実質収益対経常費用比率	97.7		81.6	87.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	95,450,540
1 固定資産	74,651,564
(1) 有形固定資産	70,883,316
(2) 無形固定資産	1,082,041
(3) 投資その他の資産	2,686,207
2 流動資産	20,798,976
(1) 現金及び預金	5,874,486
(2) 未収金及び未収収益	6,487,870
(3) 貸倒引当金( )	91,994
(4) 貯蔵品	413,886
3 繰延資産	-
負債合計	95,721,686
1 固定負債	64,663,118
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	56,888,333
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	7,774,785
(6) リース債務	-
2 流動負債	21,237,142
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,504,951
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,450,034
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,049,863
(9) 前受金及び前受収益	2,745
3 繰延収益	9,821,426
(1) 長期前受金	32,480,742
(2) 長期前受金収益化累計額( )	22,659,316
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-271,146
1 本金	37,517,072
2 剰余金	-37,788,218
(1) 資本剰余金	10,172,865
(2) 利益剰余金	-47,961,083
負債・資本合計	95,450,540
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	271,146
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	539,347	539,766
資本勘定繰入	1,393,420	1,618,541
計	1,932,767	2,158,307

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	134.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名		横浜市			
病院名		脳卒中・神経脊椎センター			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ドI訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	38,737 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	10	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	300	84.0	83.4	82.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	84.0	83.4	82.5
平均在院日数(一般病床のみ)		30.9	30.4	31.3

設立団体の状況		
人口(人)	3,777,491	
決算規模(千円)	2,025,762,829	
標準財政規模(千円)	1,026,783,460	
財政力指数	0.95	
経常収支比率(%)	99.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	114.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,951,848			
1 経常収益	8,893,596			
(1) 医業収益	6,443,791			
(うち修正医業収益)	6,356,223			
入院収益	5,709,133			
外来収益	575,045			
診療収入計	6,284,178			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	159,613			
(うち他会計負担金)	87,568			
(2) 医業外収益	2,449,805			
(うち国・都道府県補助金)	2,995			
(うち他会計補助・負担金)	1,938,485			
(うち長期前受金戻入)	351,168			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	58,252			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,428,835			
2 経常費用	9,227,515			
(1) 医業費用	8,790,098			
職員給与費	4,469,122	69.4	60.8	61.3
材料費	1,421,094	22.1	27.1	26.2
(うち薬品費)	391,726	6.1	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	916,244	14.2	11.8	11.2
減価償却費	579,143	9.0	8.6	8.5
経費	2,258,675	35.1	22.0	21.8
(うち委託料)	1,092,374	17.0	11.8	11.9
研究研修費	19,195			
資産減耗費	42,869			
(2) 医業外費用	437,417			
(うち支払利息)	109,658	1.7	0.9	0.9
(3) 特別損失	201,320			
損益	-333,919			
純損益	-476,987			
累積欠損金	24,162,059			
経常収支比率	96.4		93.0	92.2
医業収支比率	73.3		83.9	84.6
修正医業収支比率	72.3		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	22.8		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	31.4		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	22.6		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	74.4		81.6	82.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	95,450,540
1 固定資産	74,651,564
(1) 有形固定資産	70,883,316
(2) 無形固定資産	1,082,041
(3) 投資その他の資産	2,686,207
2 流動資産	20,798,976
(1) 現金及び預金	5,874,486
(2) 未収金及び未収収益	6,487,870
(3) 貸倒引当金( )	91,994
(4) 貯蔵品	413,886
3 繰延資産	-
負債合計	95,721,686
1 固定負債	64,663,118
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	56,888,333
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	7,774,785
(6) リース債務	-
2 流動負債	21,237,142
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,504,951
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,450,034
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,049,863
(9) 前受金及び前受収益	2,745
3 繰延収益	9,821,426
(1) 長期前受金	32,480,742
(2) 長期前受金収益化累計額( )	22,659,316
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-271,146
1 本金	37,517,072
2 剰余金	-37,788,218
(1) 資本剰余金	10,172,865
(2) 利益剰余金	-47,961,083
負債・資本合計	95,450,540
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	271,146
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,026,053	2,026,053
資本勘定繰入	884,952	884,952
計	2,911,005	2,911,005

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	134.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名		川崎市			
病院名		川崎病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	51,764 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	43	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	663	69.6	66.9	65.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	38	44.3	46.1	44.4
感染症	12	25.8	28.7	38.2
計	713	67.5	65.2	64.1
平均在院日数(一般病床のみ)		12.1	11.9	12.1

設立団体の状況		
人口(人)	1,538,262	
決算規模(千円)	811,845,119	
標準財政規模(千円)	419,203,322	
財政力指数	1.06	
経常収支比率(%)	99.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.4
	将来負担比率(%)	111.4

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	24,820,797				
1 経常収益	24,777,110				
(1) 医業収益	22,054,903				
(うち修正医業収益)	20,826,046				
入院収益	14,220,991				
外来収益	6,392,382				
診療収入計	20,613,373				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	1,441,530				
(うち他会計負担金)	1,228,857				
(2) 医業外収益	2,722,207				
(うち国・都道府県補助金)	48,558				
(うち他会計補助・負担金)	1,597,254				
(うち長期前受金戻入)	418,420				
(うち資本費繰入収益)	342,377				
(3) 特別利益	43,687				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	26,897,346				
2 経常費用	26,635,518				
(1) 医業費用	25,384,159				
職員給与費	12,276,267	55.7	60.8	53.3	
材料費	6,527,838	29.6	27.1	33.0	
(うち薬品費)	3,730,734	16.9	14.8	18.6	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,657,218	12.0	11.8	14.1	
減価償却費	1,584,189	7.2	8.6	7.4	
経費	4,918,884	22.3	22.0	17.2	
(うち委託料)	3,180,908	14.4	11.8	10.2	
研究研修費	47,934				
資産減耗費	29,047				
(2) 医業外費用	1,251,359				
(うち支払利息)	170,081	0.8	0.9	0.7	
(3) 特別損失	261,828				
経常損益	-1,858,408				
純損益	-2,076,549				
累積欠損金	-				
経常収支比率	93.0		93.0	94.3	
医業収支比率	86.9		83.9	89.6	
修正医業収支比率	82.0		81.0	87.6	
他会計繰入金対経常収益比率	11.4		12.2	7.6	
他会計繰入金対医業収益比率	12.8		14.3	8.5	
他会計繰入金対総収益比率	11.4		12.3	7.6	
実質収益対経常費用比率	82.4		81.6	87.1	

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)		
区分	決算額	
資産合計	54,909,122	
1 固定資産	45,457,905	
(1) 有形固定資産	45,456,837	
(2) 無形固定資産	1,068	
(3) 投資その他の資産	-	
2 流動資産	9,451,217	
(1) 現金及び預金	3,961,148	
(2) 未収金及び未収収益	5,182,420	
(3) 貸倒引当金( )	106,665	
(4) 貯蔵品	212,414	
3 繰延資産	-	
負債合計	55,857,498	
1 固定負債	41,247,501	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	35,132,458	
(2) その他の企業債	-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(4) その他の長期借入金	-	
(5) 引当金	5,926,671	
(6) リース債務	188,372	
2 流動負債	11,309,483	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,736,815	
(2) その他の企業債	-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(4) その他の長期借入金	-	
(5) 引当金	1,366,926	
(6) リース債務	88,088	
(7) 一時借入金	-	
(8) 未払金及び未払費用	4,960,669	
(9) 前受金及び前受収益	-	
3 繰延収益	3,300,514	
(1) 長期前受金	23,831,300	
(2) 長期前受金収益化累計額( )	20,530,786	
(3) 繰延運営権対価	-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-	
(5) 運営権者更新投資	-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-	
資本合計	-948,376	
1 本金	15,825,753	
2 剰余金	-16,774,129	
(1) 資本剰余金	2,670,773	
(2) 利益剰余金	-19,444,902	
負債・資本合計	54,909,122	
不良債務	-	
実質資金不足額	-	
資本不足額( )	948,376	
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-	
備考	当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,825,549	2,826,111
資本勘定繰入	1,499,336	1,499,336
計	4,324,885	4,325,447

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	61.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名		川崎市			
病院名		井田病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	36,071 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	37	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	343	78.7	73.9	65.1
療養	-	-	-	-
結核	40	30.1	30.7	16.0
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	383	73.7	69.4	61.4
平均在院日数(一般病床のみ)		15.3	15.0	13.8

設立団体の状況		
人口(人)	1,538,262	
決算規模(千円)	811,845,119	
標準財政規模(千円)	419,203,322	
財政力指数	1.06	
経常収支比率(%)	99.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.4
	将来負担比率(%)	111.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,326,892			
1 経常収益	10,259,349			
(1) 医業収益	8,271,664			
(うち修正医業収益)	7,932,535			
入院収益	5,339,801			
外来収益	2,397,720			
診療収入計	7,737,521			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	534,143			
(うち他会計負担金)	339,129			
(2) 医業外収益	1,987,685			
(うち国・都道府県補助金)	18,589			
(うち他会計補助・負担金)	1,368,152			
(うち長期前受金戻入)	329,067			
(うち資本費繰入収益)	181,797			
(3) 特別利益	67,543			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,169,602			
2 経常費用	12,143,276			
(1) 医業費用	11,578,147			
職員給与費	6,427,490	77.7	60.8	61.3
材料費	1,947,244	23.5	27.1	26.2
(うち薬品費)	1,086,085	13.1	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	787,093	9.5	11.8	11.2
減価償却費	1,014,331	12.3	8.6	8.5
経費	2,145,164	25.9	22.0	21.8
(うち委託料)	1,307,212	15.8	11.8	11.9
研究研修費	21,874			
資産減耗費	22,044			
(2) 医業外費用	565,129			
(うち支払利息)	197,171	2.4	0.9	0.9
(3) 特別損失	26,326			
損益	-1,883,927			
純損益	-1,842,710			
累積欠損金	21,065,122			
経常収支比率	84.5		93.0	92.2
医業収支比率	71.4		83.9	84.6
修正医業収支比率	68.5		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	16.6		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	20.6		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	16.5		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	70.4		81.6	82.3

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	54,909,122
1 固定資産	45,457,905
(1) 有形固定資産	45,456,837
(2) 無形固定資産	1,068
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	9,451,217
(1) 現金及び預金	3,961,148
(2) 未収金及び未収収益	5,182,420
(3) 貸倒引当金( )	106,665
(4) 貯蔵品	212,414
3 繰延資産	-
負債合計	55,857,498
1 固定負債	41,247,501
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	35,132,458
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	5,926,671
(6) リース債務	188,372
2 流動負債	11,309,483
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,736,815
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,366,926
(6) リース債務	88,088
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,960,669
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,300,514
(1) 長期前受金	23,831,300
(2) 長期前受金収益化累計額( )	20,530,786
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-948,376
1 本金	15,825,753
2 剰余金	-16,774,129
(1) 資本剰余金	2,670,773
(2) 利益剰余金	-19,444,902
負債・資本合計	54,909,122
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	948,376
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,706,826	1,707,281
資本勘定繰入	493,858	493,858
計	2,200,684	2,201,139

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	61.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の  
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から  
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、  
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に  
 占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名		川崎市			
病院名		多摩病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	35,620 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	32	指定病院の状況	救臨 災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	376	79.3	72.7	62.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	376	79.3	72.7	62.1
平均在院日数(一般病床のみ)		10.5	10.6	10.1

設立団体の状況		
人口(人)	1,538,262	
決算規模(千円)	811,845,119	
標準財政規模(千円)	419,203,322	
財政力指数	1.06	
経常収支比率(%)	99.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.4
	将来負担比率(%)	111.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,181,175			
1 経常収益	1,809,134			
(1) 医業収益	1,103,954			
(うち修正医業収益)	709,841			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,103,954			
(うち他会計負担金)	394,113			
(2) 医業外収益	705,180			
(うち国・都道府県補助金)	1,743			
(うち他会計補助・負担金)	494,445			
(うち長期前受金戻入)	208,089			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	372,041			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,376,134			
2 経常費用	1,361,981			
(1) 医業費用	1,139,541			
職員給与費	27,465	2.5	60.8	61.3
材料費	-	-	27.1	26.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	11.2
減価償却費	337,016	30.5	8.6	8.5
経費	771,105	69.8	22.0	21.8
(うち委託料)	22,191	2.0	11.8	11.9
研究研修費	-			
資産減耗費	3,955			
(2) 医業外費用	222,440			
(うち支払利息)	222,440	20.1	0.9	0.9
(3) 特別損失	14,153			
損益	447,153			
純損益	805,041			
累積欠損金	428,006			
経常収支比率	132.8		93.0	92.2
医業収支比率	96.9		83.9	84.6
修正医業収支比率	62.3		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	49.1		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	80.5		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	40.7		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	67.6		81.6	82.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	54,909,122
1 固定資産	45,457,905
(1) 有形固定資産	45,456,837
(2) 無形固定資産	1,068
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	9,451,217
(1) 現金及び預金	3,961,148
(2) 未収金及び未収収益	5,182,420
(3) 貸倒引当金( )	106,665
(4) 貯蔵品	212,414
3 繰延資産	-
負債合計	55,857,498
1 固定負債	41,247,501
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	35,132,458
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	5,926,671
(6) リース債務	188,372
2 流動負債	11,309,483
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,736,815
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,366,926
(6) リース債務	88,088
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,960,669
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,300,514
(1) 長期前受金	23,831,300
(2) 長期前受金収益化累計額( )	20,530,786
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-948,376
1 本金	15,825,753
2 剰余金	-16,774,129
(1) 資本剰余金	2,670,773
(2) 利益剰余金	-19,444,902
負債・資本合計	54,909,122
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	948,376
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	888,558	888,558
資本勘定繰入	727,081	727,081
計	1,615,639	1,615,639

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	61.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名		横須賀市			
病院名		市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I 訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	26,943 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	29	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	339	40.9	40.8	39.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	339	40.4	40.3	39.4
平均在院日数(一般病床のみ)		15.2	15.2	13.6

設立団体の状況		
人口(人)	388,078	
決算規模(千円)	171,315,612	
標準財政規模(千円)	89,193,022	
財政力指数	0.74	
経常収支比率(%)	99.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.2
	将来負担比率(%)	36.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	452,560			
1 経常収益	452,560			
(1) 医業収益	244,017			
(うち修正医業収益)	15,017			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	244,017			
(うち他会計負担金)	229,000			
(2) 医業外収益	208,543			
(うち国・都道府県補助金)	9,132			
(うち他会計補助・負担金)	165,000			
(うち長期前受金戻入)	23,743			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	653,660			
2 経常費用	653,660			
(1) 医業費用	630,047			
職員給与費	35,218	14.4	60.8	61.3
材料費	-	-	27.1	26.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	11.2
減価償却費	439,130	180.0	8.6	8.5
経費	137,563	56.4	22.0	21.8
(うち委託料)	16,032	6.6	11.8	11.9
研究研修費	-			
資産減耗費	18,136			
(2) 医業外費用	23,613			
(うち支払利息)	16,720	6.9	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-201,100			
純損失	-201,100			
累積欠損金	7,869,709			
経常収支比率	69.2		93.0	92.2
医業収支比率	38.7		83.9	84.6
修正医業収支比率	2.4		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	87.1		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	161.5		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	87.1		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	9.0		81.6	82.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	39,259,195
1 固定資産	32,473,498
(1) 有形固定資産	32,469,817
(2) 無形固定資産	3,681
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	6,785,697
(1) 現金及び預金	4,997,395
(2) 未収金及び未収収益	1,548,814
(3) 貸倒引当金( )	2,956
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	29,089,410
1 固定負債	27,378,620
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	27,313,664
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	64,956
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,151,224
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	506,388
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	5,048
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	636,840
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	559,566
(1) 長期前受金	2,092,583
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,533,017
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	10,169,785
1 本金	13,224,477
2 剰余金	-3,054,692
(1) 資本剰余金	4,061,627
(2) 利益剰余金	-7,116,319
負債・資本合計	39,259,195
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	568,009	394,000
資本勘定繰入	119,340	119,000
計	687,349	513,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1038.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名	横須賀市				
病院名	総合医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透し未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	38,206 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	34	指定病院の状況	救臨感地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	444	72.8	78.0	73.5
療養	-	84.3	32.5	23.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	450	74.0	72.6	67.5
平均在院日数(一般病床のみ)		11.4	11.7	11.9

設立団体の状況		
人口(人)	388,078	
決算規模(千円)	171,315,612	
標準財政規模(千円)	89,193,022	
財政力指数	0.74	
経常収支比率(%)	99.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.2
	将来負担比率(%)	36.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	832,108			
1 経常収益	832,108			
(1) 医業収益	441,562			
(うち修正医業収益)	17,952			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	441,562			
(うち他会計負担金)	423,610			
(2) 医業外収益	390,546			
(うち国・都道府県補助金)	15,301			
(うち他会計補助・負担金)	181,390			
(うち長期前受金戻入)	35,168			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,526,501			
2 経常費用	1,486,136			
(1) 医業費用	1,248,832			
職員給与費	35,218	8.0	60.8	58.1
材料費	-	-	27.1	29.1
(うち薬品費)	-	-	14.8	15.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	12.7
減価償却費	721,028	163.3	8.6	8.1
経費	492,096	111.4	22.0	18.7
(うち委託料)	365,077	82.7	11.8	10.4
研究研修費	-			
資産減耗費	490			
(2) 医業外費用	237,304			
(うち支払利息)	120,962	27.4	0.9	0.9
(3) 特別損失	40,365			
経常損益	-654,028			
純損益	-694,393			
累積欠損金	-			
経常収支比率	56.0		93.0	93.4
医業収支比率	35.4		83.9	87.3
修正医業収支比率	1.4		81.0	84.5
他会計繰入金対経常収益比率	72.7		12.2	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	137.0		14.3	11.0
他会計繰入金対総収益比率	72.7		12.3	9.8
実質収益対経常費用比率	15.3		81.6	84.3

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	39,259,195
1 固定資産	32,473,498
(1) 有形固定資産	32,469,817
(2) 無形固定資産	3,681
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	6,785,697
(1) 現金及び預金	4,997,395
(2) 未収金及び未収収益	1,548,814
(3) 貸倒引当金( )	2,956
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	29,089,410
1 固定負債	27,313,664
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	27,313,664
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	64,956
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,151,224
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	506,388
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	5,048
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	636,840
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	559,566
(1) 長期前受金	2,092,583
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,533,017
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	10,169,785
1 本金	13,224,477
2 剰余金	-3,054,692
(1) 資本剰余金	4,061,627
(2) 利益剰余金	-7,116,319
負債・資本合計	39,259,195
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	795,780	605,000
資本勘定繰入	271,755	115,521
計	1,067,535	720,521

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1038.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名		平塚市			
病院名		平塚市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透し未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	34,719 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	29	指定病院の状況	救臨感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	410	76.6	73.1	74.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	416	75.5	72.1	73.6
平均在院日数(一般病床のみ)		9.2	10.9	11.3

設立団体の状況	
人口(人)	258,422
決算規模(千円)	107,390,503
標準財政規模(千円)	54,066,753
財政力指数	0.95
経常収支比率(%)	96.7
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16,819,449			
1 経常収益	16,598,726			
(1) 医業収益	14,402,718			
(うち修正医業収益)	13,680,730			
入院収益	9,841,463			
外来収益	3,575,726			
診療収入計	13,417,189			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	985,529			
(うち他会計負担金)	721,988			
(2) 医業外収益	2,196,008			
(うち国・都道府県補助金)	40,122			
(うち他会計補助・負担金)	1,380,832			
(うち長期前受金戻入)	487,382			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	220,723			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	17,458,653			
2 経常費用	17,001,659			
(1) 医業費用	16,198,242			
職員給与費	8,908,608	61.9	60.8	58.1
材料費	3,451,109	24.0	27.1	29.1
(うち薬品費)	1,751,853	12.2	14.8	15.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,699,256	11.8	11.8	12.7
減価償却費	1,158,008	8.0	8.6	8.1
経費	2,641,566	18.3	22.0	18.7
(うち委託料)	1,744,010	12.1	11.8	10.4
研究研修費	35,349			
資産減耗費	3,602			
(2) 医業外費用	803,417			
(うち支払利息)	78,889	0.5	0.9	0.9
(3) 特別損失	456,994			
経常損益	-402,933			
純損益	-639,204			
累積欠損金	1,720,460			
経常収支比率	97.6		93.0	93.4
医業収支比率	88.9		83.9	87.3
修正医業収支比率	84.5		81.0	84.5
他会計繰入金対経常収益比率	12.7		12.2	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	14.6		14.3	11.0
他会計繰入金対総収益比率	12.5		12.3	9.8
実質収益対経常費用比率	85.3		81.6	84.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	24,818,460
1 固定資産	17,297,122
(1) 有形固定資産	15,531,321
(2) 無形固定資産	619,020
(3) 投資その他の資産	1,146,781
2 流動資産	7,521,338
(1) 現金及び預金	3,686,976
(2) 未収金及び未収収益	3,740,606
(3) 貸倒引当金( )	4,995
(4) 貯蔵品	80,429
3 繰延資産	-
負債合計	20,137,897
1 固定負債	15,175,243
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,845,152
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,500,000
(5) 引当金	2,336,381
(6) リース債務	493,710
2 流動負債	3,896,480
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	934,401
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,000,000
(5) 引当金	573,453
(6) リース債務	229,888
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,153,955
(9) 前受金及び前受収益	660
3 繰延収益	1,066,174
(1) 長期前受金	4,707,744
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,641,570
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	4,680,563
1 資本金	6,199,592
2 剰余金	-1,519,029
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,519,029
負債・資本合計	24,818,460
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,102,820	2,102,820
資本勘定繰入	365,369	365,369
計	2,468,189	2,468,189

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	11.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名		藤沢市			
病院名		藤沢市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透し未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	57,595 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	37	指定病院の状況	救臨が感災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	530	85.8	81.9	77.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	48.8	23.8	33.4
計	536	85.4	81.2	77.2
平均在院日数(一般病床のみ)		10.4	9.9	10.0

設立団体の状況		
人口(人)	436,905	
決算規模(千円)	175,874,683	
標準財政規模(千円)	95,303,032	
財政力指数	1.08	
経常収支比率(%)	94.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.3
	将来負担比率(%)	46.4

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	22,550,160				
1 経常収益	22,537,043				
(1) 医業収益	21,029,726				
(うち修正医業収益)	20,363,616				
入院収益	13,867,184				
外来収益	6,057,293				
診療収入計	19,924,477				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	1,105,249				
(うち他会計負担金)	666,110				
(2) 医業外収益	1,507,317				
(うち国・都道府県補助金)	93,861				
(うち他会計補助・負担金)	968,426				
(うち長期前受金戻入)	298,604				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	13,117				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	23,638,995				
2 経常費用	23,441,066				
(1) 医業費用	22,232,411				
職員給与費	11,499,367	54.7	60.8	53.3	
材料費	5,765,211	27.4	27.1	33.0	
(うち薬品費)	2,914,791	13.9	14.8	18.6	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,710,464	12.9	11.8	14.1	
減価償却費	1,329,722	6.3	8.6	7.4	
経費	3,568,768	17.0	22.0	17.2	
(うち委託料)	2,369,847	11.3	11.8	10.2	
研究研修費	53,019				
資産減耗費	16,324				
(2) 医業外費用	1,208,655				
(うち支払利息)	83,069	0.4	0.9	0.7	
(3) 特別損失	197,929				
経常損益	-904,023				
純損益	-1,088,835				
累積欠損金	4,308,614				
経常収支比率	96.1		93.0	94.3	
医業収支比率	94.6		83.9	89.6	
修正医業収支比率	91.6		81.0	87.6	
他会計繰入金対経常収益比率	7.3		12.2	7.6	
他会計繰入金対医業収益比率	7.8		14.3	8.5	
他会計繰入金対総収益比率	7.2		12.3	7.6	
実質収益対経常費用比率	89.2		81.6	87.1	

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	23,243,666
1 固定資産	13,539,098
(1) 有形固定資産	12,067,472
(2) 無形固定資産	942,926
(3) 投資その他の資産	528,700
2 流動資産	9,704,568
(1) 現金及び預金	6,107,972
(2) 未収金及び未収収益	3,582,770
(3) 貸倒引当金( )	26,401
(4) 貯蔵品	40,227
3 繰延資産	-
負債合計	17,920,383
1 固定負債	14,040,087
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,441,301
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,592,014
(6) リース債務	6,772
2 流動負債	3,260,191
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	762,947
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	733,123
(6) リース債務	34,642
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,639,215
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	620,105
(1) 長期前受金	2,148,053
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,527,948
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	5,323,283
1 本金	9,575,890
2 剰余金	-4,252,607
(1) 資本剰余金	56,007
(2) 利益剰余金	-4,308,614
負債・資本合計	23,243,666
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,755,550	1,634,536
資本勘定繰入	198,107	198,107
計	1,953,657	1,832,643

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	20.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名	小田原市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	24,393 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨が 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	417	90.7	88.0	91.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	417	90.7	88.0	91.7
平均在院日数(一般病床のみ)		10.0	9.5	9.6

設立団体の状況		
人口(人)	188,856	
決算規模(千円)	85,952,451	
標準財政規模(千円)	41,332,666	
財政力指数	0.90	
経常収支比率(%)	98.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.3
	将来負担比率(%)	43.1

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	15,737,350				
1 経常収益	15,726,273				
(1) 医業収益	14,423,414				
(うち修正医業収益)	14,299,571				
入院収益	10,908,340				
外来収益	3,289,593				
診療収入計	14,197,933				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	225,481				
(うち他会計負担金)	123,843				
(2) 医業外収益	1,302,859				
(うち国・都道府県補助金)	76,403				
(うち他会計補助・負担金)	1,076,157				
(うち長期前受金戻入)	67,615				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	11,077				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	14,936,191				
2 経常費用	14,919,136				
(1) 医業費用	14,217,218				
職員給与費	7,838,213	54.3	60.8	58.1	
材料費	3,396,469	23.5	27.1	29.1	
(うち薬品費)	1,423,381	9.9	14.8	15.9	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,869,998	13.0	11.8	12.7	
減価償却費	768,699	5.3	8.6	8.1	
経費	2,181,470	15.1	22.0	18.7	
(うち委託料)	1,497,426	10.4	11.8	10.4	
研究研修費	27,237				
資産減耗費	5,130				
(2) 医業外費用	701,918				
(うち支払利息)	21,984	0.2	0.9	0.9	
(3) 特別損失	17,055				
経常損益	807,137				
純損益	801,159				
累積欠損金	-				
経常収支比率	105.4		93.0	93.4	
医業収支比率	101.5		83.9	87.3	
修正医業収支比率	100.6		81.0	84.5	
他会計繰入金対経常収益比率	7.6		12.2	9.8	
他会計繰入金対医業収益比率	8.3		14.3	11.0	
他会計繰入金対総収益比率	7.6		12.3	9.8	
実質収益対経常費用比率	97.4		81.6	84.3	

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	32,990,022
1 固定資産	14,592,428
(1) 有形固定資産	13,581,512
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	1,010,916
2 流動資産	18,397,594
(1) 現金及び預金	14,182,379
(2) 未収金及び未収収益	4,162,205
(3) 貸倒引当金( )	14,000
(4) 貯蔵品	67,010
3 繰延資産	-
負債合計	15,578,763
1 固定負債	7,051,898
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,592,882
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,453,831
(6) リース債務	5,185
2 流動負債	6,478,026
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	293,355
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	439,462
(6) リース債務	164,261
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,548,718
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,048,839
(1) 長期前受金	2,697,753
(2) 長期前受金収益化累計額( )	648,914
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	17,411,259
1 本金	4,872,662
2 剰余金	12,538,597
(1) 資本剰余金	199,325
(2) 利益剰余金	12,339,272
負債・資本合計	32,990,022
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,378,466	1,200,000
資本勘定繰入	2,358,172	116,272
計	3,736,638	1,316,272

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名	茅ヶ崎市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	28,878 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨 災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	401	76.2	71.8	68.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	401	76.2	71.8	68.6
平均在院日数(一般病床のみ)		10.3	10.5	10.3

設立団体の状況		
人口(人)	242,389	
決算規模(千円)	99,566,622	
標準財政規模(千円)	47,861,069	
財政力指数	0.90	
経常収支比率(%)	98.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.8
	将来負担比率(%)	17.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,565,650			
1 経常収益	13,531,685			
(1) 医業収益	12,291,578			
(うち修正医業収益)	11,988,606			
入院収益	7,675,683			
外来収益	3,959,052			
診療収入計	11,634,735			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	656,843			
(うち他会計負担金)	302,972			
(2) 医業外収益	1,240,107			
(うち国・都道府県補助金)	34,444			
(うち他会計補助・負担金)	692,708			
(うち長期前受金戻入)	428,702			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	33,965			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,997,838			
2 経常費用	13,890,837			
(1) 医業費用	13,174,216			
職員給与費	6,616,248	53.8	60.8	58.1
材料費	3,135,616	25.5	27.1	29.1
(うち薬品費)	1,598,792	13.0	14.8	15.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,536,750	12.5	11.8	12.7
減価償却費	920,127	7.5	8.6	8.1
経費	2,456,899	20.0	22.0	18.7
(うち委託料)	1,660,237	13.5	11.8	10.4
研究研修費	32,049			
資産減耗費	13,277			
(2) 医業外費用	716,621			
(うち支払利息)	95,579	0.8	0.9	0.9
(3) 特別損失	107,001			
経常損益	-359,152			
純損益	-432,188			
累積欠損金	4,197,840			
経常収支比率	97.4		93.0	93.4
医業収支比率	93.3		83.9	87.3
修正医業収支比率	91.0		81.0	84.5
他会計繰入金対経常収益比率	7.4		12.2	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	8.1		14.3	11.0
他会計繰入金対総収益比率	7.3		12.3	9.8
実質収益対経常費用比率	90.2		81.6	84.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	17,163,123
1 固定資産	10,911,848
(1) 有形固定資産	10,209,599
(2) 無形固定資産	462,901
(3) 投資その他の資産	239,348
2 流動資産	6,251,275
(1) 現金及び預金	4,081,482
(2) 未収金及び未収収益	2,064,555
(3) 貸倒引当金( )	61,474
(4) 貯蔵品	166,711
3 繰延資産	-
負債合計	14,198,743
1 固定負債	9,289,274
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,304,508
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,936,908
(6) リース債務	47,858
2 流動負債	3,013,374
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,306,038
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	514,185
(6) リース債務	33,873
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,154,015
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,896,095
(1) 長期前受金	8,674,823
(2) 長期前受金収益化累計額( )	6,778,728
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,964,380
1 本金	5,383,112
2 剰余金	-2,418,732
(1) 資本剰余金	1,779,108
(2) 利益剰余金	-4,197,840
負債・資本合計	17,163,123
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	995,680	995,680
資本勘定繰入	722,750	722,750
計	1,718,430	1,718,430

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	34.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名		三浦市			
病院名		市立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,393 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	13	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	136	66.6	79.8	81.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	136	66.6	79.8	81.3
平均在院日数(一般病床のみ)		16.8	19.8	18.7

設立団体の状況		
人口(人)	42,069	
決算規模(千円)	20,966,789	
標準財政規模(千円)	10,784,067	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	99.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.8
	将来負担比率(%)	84.2

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均	
総収益	2,273,314				
1 経常収益	2,273,314				
(1) 医業収益	2,099,756				
(うち修正医業収益)	1,905,964				
入院収益	1,255,258				
外来収益	527,333				
診療収入計	1,782,591				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	317,165				
(うち他会計負担金)	193,792				
(2) 医業外収益	173,558				
(うち国・都道府県補助金)	18,952				
(うち他会計補助・負担金)	113,049				
(うち長期前受金戻入)	15,415				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	2,738,937				
2 経常費用	2,738,781				
(1) 医業費用	2,629,560				
職員給与費	1,639,656	78.1	60.8	69.3	
材料費	213,629	10.2	27.1	18.4	
(うち薬品費)	74,234	3.5	14.8	8.7	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	138,435	6.6	11.8	9.1	
減価償却費	209,782	10.0	8.6	10.8	
経費	544,693	25.9	22.0	29.9	
(うち委託料)	344,358	16.4	11.8	13.7	
研究研修費	20,573				
資産減耗費	1,227				
(2) 医業外費用	109,221				
(うち支払利息)	28,444	1.4	0.9	1.0	
(3) 特別損失	156				
経常損益	-465,467				
純損益	-465,623				
累積欠損金	1,545,406				
経常収支比率	83.0		93.0	91.6	
医業収支比率	79.9		83.9	77.4	
修正医業収支比率	72.5		81.0	73.2	
他会計繰入金対経常収益比率	13.5		12.2	17.7	
他会計繰入金対医業収益比率	14.6		14.3	22.2	
他会計繰入金対総収益比率	13.5		12.3	17.9	
実質収益対経常費用比率	71.8		81.6	75.4	

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	3,721,604
1 固定資産	2,456,493
(1) 有形固定資産	2,445,750
(2) 無形固定資産	443
(3) 投資その他の資産	10,300
2 流動資産	1,265,111
(1) 現金及び預金	643,495
(2) 未収金及び未収収益	623,524
(3) 貸倒引当金( )	13,713
(4) 貯蔵品	8,668
3 繰延資産	-
負債合計	2,689,975
1 固定負債	1,902,521
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,579,105
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	323,416
(6) リース債務	-
2 流動負債	675,294
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	271,140
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	116,283
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	264,392
(9) 前受金及び前受収益	9,843
3 繰延収益	112,160
(1) 長期前受金	290,977
(2) 長期前受金収益化累計額( )	178,817
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,031,629
1 資本金	2,577,035
2 剰余金	-1,545,406
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,545,406
負債・資本合計	3,721,604
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	306,841	306,841
資本勘定繰入	150,436	153,186
計	457,277	460,027

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	73.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名		厚木市			
病院名		市立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	32,585 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨 感 災 地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	341	76.0	70.1	67.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	72.8	61.4	53.7
計	347	76.0	70.0	67.7
平均在院日数(一般病床のみ)		8.4	8.3	8.9

設立団体の状況		
人口(人)	223,705	
決算規模(千円)	109,487,991	
標準財政規模(千円)	54,360,214	
財政力指数	1.18	
経常収支比率(%)	93.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.7
	将来負担比率(%)	76.1

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均	
総収益	11,857,865				
1 経常収益	11,817,059				
(1) 医業収益	10,402,421				
(うち修正医業収益)	9,683,836				
入院収益	6,718,124				
外来収益	2,772,435				
診療収入計	9,490,559				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	911,862				
(うち他会計負担金)	718,585				
(2) 医業外収益	1,414,638				
(うち国・都道府県補助金)	27,064				
(うち他会計補助・負担金)	754,838				
(うち長期前受金戻入)	506,069				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	40,806				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	12,208,186				
2 経常費用	12,172,167				
(1) 医業費用	11,601,021				
職員給与費	6,308,682	60.6	60.8	61.3	
材料費	2,439,095	23.4	27.1	26.2	
(うち薬品費)	1,118,786	10.8	14.8	14.5	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,318,711	12.7	11.8	11.2	
減価償却費	928,057	8.9	8.6	8.5	
経費	1,905,029	18.3	22.0	21.8	
(うち委託料)	1,290,708	12.4	11.8	11.9	
研究研修費	15,539				
資産減耗費	4,619				
(2) 医業外費用	571,146				
(うち支払利息)	106,932	1.0	0.9	0.9	
(3) 特別損失	36,019				
経常損益	-355,108				
純損益	-350,321				
累積欠損金	2,864,265				
経常収支比率	97.1		93.0	92.2	
医業収支比率	89.7		83.9	84.6	
修正医業収支比率	83.5		81.0	81.8	
他会計繰入金対経常収益比率	12.5		12.2	10.8	
他会計繰入金対医業収益比率	14.2		14.3	12.4	
他会計繰入金対総収益比率	12.4		12.3	10.7	
実質収益対経常費用比率	85.0		81.6	82.3	

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	24,955,691
1 固定資産	19,939,848
(1) 有形固定資産	15,312,051
(2) 無形固定資産	81,410
(3) 投資その他の資産	4,546,387
2 流動資産	5,015,843
(1) 現金及び預金	3,389,398
(2) 未収金及び未収収益	1,523,992
(3) 貸倒引当金( )	1,695
(4) 貯蔵品	104,148
3 繰延資産	-
負債合計	20,798,815
1 固定負債	16,552,308
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,360,153
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,763,735
(5) 引当金	837,546
(6) リース債務	590,874
2 流動負債	2,759,386
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	835,856
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	240,188
(5) 引当金	413,868
(6) リース債務	172,088
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,093,186
(9) 前受金及び前受収益	3,582
3 繰延収益	1,487,121
(1) 長期前受金	5,758,137
(2) 長期前受金収益化累計額( )	4,271,016
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	4,156,876
1 資本金	4,034,683
2 剰余金	122,193
(1) 資本剰余金	2,924,458
(2) 利益剰余金	-2,802,265
負債・資本合計	24,955,691
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,494,572	1,473,423
資本勘定繰入	464,801	503,035
計	1,959,373	1,976,458

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	27.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名	大和市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	27,111 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	32	指定病院の状況	救臨が災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	403	68.2	69.5	64.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	403	68.2	69.5	64.1
平均在院日数(一般病床のみ)		9.7	10.2	10.0

設立団体の状況		
人口(人)	239,169	
決算規模(千円)	90,620,561	
標準財政規模(千円)	47,340,051	
財政力指数	0.93	
経常収支比率(%)	101.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.9
	将来負担比率(%)	43.2

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	12,079,004				
1 経常収益	12,078,838				
(1) 医業収益	10,539,341				
(うち修正医業収益)	10,195,847				
入院収益	6,775,707				
外来収益	3,165,401				
診療収入計	9,941,108				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	598,233				
(うち他会計負担金)	343,494				
(2) 医業外収益	1,539,497				
(うち国・都道府県補助金)	65,171				
(うち他会計補助・負担金)	1,019,846				
(うち長期前受金戻入)	368,541				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	166				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	12,708,627				
2 経常費用	12,604,586				
(1) 医業費用	12,048,799				
職員給与費	6,830,557	64.8	60.8	58.1	
材料費	2,495,619	23.7	27.1	29.1	
(うち薬品費)	1,223,275	11.6	14.8	15.9	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,175,869	11.2	11.8	12.7	
減価償却費	586,300	5.6	8.6	8.1	
経費	2,089,819	19.8	22.0	18.7	
(うち委託料)	1,293,427	12.3	11.8	10.4	
研究研修費	18,684				
資産減耗費	27,820				
(2) 医業外費用	555,787				
(うち支払利息)	8,849	0.1	0.9	0.9	
(3) 特別損失	104,041				
経常損益	-525,748				
純損益	-629,623				
累積欠損金	7,572,827				
経常収支比率	95.8		93.0	93.4	
医業収支比率	87.5		83.9	87.3	
修正医業収支比率	84.6		81.0	84.5	
他会計繰入金対経常収益比率	11.3		12.2	9.8	
他会計繰入金対医業収益比率	12.9		14.3	11.0	
他会計繰入金対総収益比率	11.3		12.3	9.8	
実質収益対経常費用比率	85.0		81.6	84.3	

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	9,838,757
1 固定資産	6,835,496
(1) 有形固定資産	6,557,094
(2) 無形固定資産	7,936
(3) 投資その他の資産	270,466
2 流動資産	3,003,261
(1) 現金及び預金	1,189,212
(2) 未収金及び未収収益	1,776,920
(3) 貸倒引当金( )	5,315
(4) 貯蔵品	42,441
3 繰延資産	-
負債合計	8,802,764
1 固定負債	4,960,061
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,592,277
(2) その他の企業債	638,260
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,000,000
(5) 引当金	1,729,524
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,854,590
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	324,609
(2) その他の企業債	63,545
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	487,773
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	977,568
(9) 前受金及び前受収益	425
3 繰延収益	1,988,113
(1) 長期前受金	7,477,710
(2) 長期前受金収益化累計額( )	5,489,597
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,035,993
1 資本金	3,836,194
2 剰余金	-2,800,201
(1) 資本剰余金	4,772,626
(2) 利益剰余金	-7,572,827
負債・資本合計	9,838,757
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,363,340	1,363,340
資本勘定繰入	206,005	206,005
計	1,569,345	1,569,345

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	71.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。